

| | |
|-----|-------------------------|
| 演 題 | 誤嚥性肺炎を防げ |
| 副 題 | クラスター発生時における口腔ケアの課題と重要性 |

| | |
|------------|-----------------------------|
| フリガナ | カイゴロウジンホケンシセツ ヤマナシライフケア・ホーム |
| 施 設 名 | 介護老人保健施設 山梨ライフケア・ホーム |
| フリガナ | カンゴ スズキ アヤ |
| 発表者(職名・氏名) | 看護 鈴木 文 |
| フリガナ | コウクウケアインカイ カンゴブモン ショクインイチドウ |
| 共同研究者 | 口腔ケア委員会 看護部門 職員一同 |

【はじめに】

新型コロナウイルス（以下コロナ）が感染症法上で第2類から第5類に移行した事により、世間の感染対策が緩和され、施設での感染対策は更に難しくなり、重要度が高まっている。当施設では令和4年6月と同年12月に2度のクラスターを経験した。感染対策に重きが置かれる一方、口腔ケアの大切さが見過ごされて「誤嚥性肺炎」のリスクが増加し入院や命の危機に直面する事があった。その経験から口腔ケアの重要性を改めて実感した。職員が抱えた苦悩や実際に行った事を通して幾らかの知見を得たので報告する。

【方法・目的】

1回目のクラスター時の口腔ケアの方法を見直して対策を講じて、2回目のクラスター時の誤嚥性肺炎者の軽減を図れるかどうかを検証した。また2回目のクラスター時の反省を行い次回に備える。

施設入所定員 100 名（ベッド稼働率概ね 90%前後）

1 回目：令和 4 年 6 月 30 日～同年 7 月 26 日
 入所者のコロナ感染者数 31 名
 その内：誤嚥性肺炎者数 5 名

2 回目：令和 4 年 11 月 24 日～令和 5 年 1 月 12 日
 入所者のコロナ感染者数 30 名
 その内：誤嚥性肺炎者数 4 名

クラスター時の県内の実効再生産数(以下 Rt)

1 回目：Rt=1.10 2 回目：Rt=1.11

※ 実効再生産数(effective reproduction number: Rt)すでに感染が広がっている状況で、1人の感染者が次に平均で何人にうつすかを示す指標。1より大きいほど感染力が強く感染が広がる状況となる。

【1 回目のクラスターについて】

令和 4 年 6 月 30 日 入所者 1 名 コロナ陽性
 令和 4 年 7 月 2 日 クラスター認定
 「保健所」「YCAT」派遣・指導

指導内容：施設内ゾーニング・个人防护具の着脱
 陽性者対応の方法など

※ 感染制御を第一優先とするため業務量を最小限にする事、また感染を抑える為のスキルが不足している場合は口腔ケアを控える様にとの指導あり。

反省点を踏まえた対応方法の変更点

- ① 使い捨て歯ブラシへ変更
- ② 共用のガーグルベースンを使い捨てカップへ変更
- ③ 使用後の歯ブラシ・カップ・紙コップ・うがい後の汚水をポリ袋に入れ次亜塩素酸消毒後に廃棄
- ④ 徹底した手洗いと手指消毒や洗面所の消毒を依頼
- ⑤ 口腔ケアの注意事項のポスターを掲示
- ⑥ 口腔ケアのチェックリストの実施
- ⑦ 全職員に対して業務の振り返りの実施

【2 回目のクラスターについて】

反省点を踏まえた対応方法の変更点

- ① 口腔ケアが利用者様の命を守る大切なケアである事を全職員に再周知する為に研修会開催
- ② 口腔ケア困難者をピックアップし方法の改善
- ③ 個々の利用者様の口腔ケア方法を明確化して全職員へ再周知
- ④ 口腔ケア内容を一覧表にして提示
- ⑤ 利用者様の口腔手順書を作成
- ⑥ 定期的に日頃の口腔ケアを振り返り改善できるようにチェックリストの強化を実施

【結果】

1 回目のクラスター時に改善した方法では、2 回目のクラスター時の誤嚥性肺炎者数の減少には繋がらなかった為、更なる改善策を講じた。本経験を通して、全職員が口腔ケアの必要性を認識できた事、口腔ケアの方法が明確化された事、クラスターという特殊な環境下でも全職員が統一した対応が可能となった事、振り返りとして自身の振る舞いをチェックできるようになった事、今後クラスターが発生しても創意工夫で口腔ケアが提供できる事が分かった。施設としては大きな1歩となった。

【まとめ】

今回の経験を通してクラスター時は、口腔ケアを始めとする様々なケアが不十分となり、入所者様に対して大変辛い思いをさせてしまう事を実感した。しかし、この経験は決して無駄にはならないと感じると同時に、クラスターという特殊な環境下での口腔ケアの重要性と課題が分かった。人生の先輩方の暮らしを一日でも豊かにできるように職員一丸となって、今後も努力をしていきたい。